

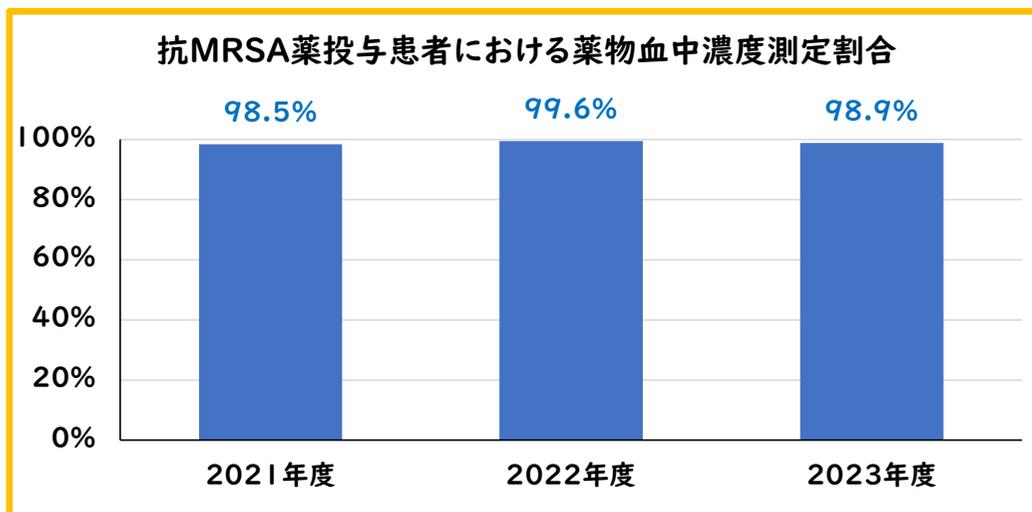
31 抗MRSA薬投与患者における薬物血中濃度測定割合

薬剤部

◆解説◆

MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)感染症に対して抗MRSA薬を使用する場合、有効血中濃度の維持、副作用の抑制、耐性菌の出現を回避するため、治療薬物の血中濃度測定が重要です。本指標では、当該医薬品を使用した患者のうち、薬物血中濃度測定を実施した患者の割合を示しており、より数値が高い方が望ましいと考えられます。

◆当院の実績◆



◆自己点検評価◆

薬物血中濃度測定(TDM)の実施が必要な抗MRSA薬として、バンコマイシン、テイコプラニン、アルベカシンの3剤のデータを掲載しています。

これらの薬剤においては、TDM実施率が100%となるように薬剤師による確認・提案を継続していきます。

◆定義◆

抗MRSA薬投与患者数に対する抗MRSA薬の血中濃度測定実施患者数の割合